

令和4年度 中城御殿跡地整備検討委員会（第2回）

主な意見と対応方針

①中城御殿跡・松崎馬場跡について

No.	項目	意見要旨	対応方針(案)
上之御殿エリアの整備方針(案)について			
1	上之御殿エリア全体の整備方針について	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に文化財指定を目指す範囲について、具体的に確認したい。国にも文化財指定と文化財利活用の、一見矛盾する2つの方向性があるなかで、県としてはどのように文化財整備を考えるのかということが非常に重要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点でまだ整備計画の全体像が見えていないため、文化財指定の範囲については、今後那覇市や県関係部局と調整のうえで決定していきたい。
2	東側石積の計画について	<ul style="list-style-type: none"> 「基本的な考え方」に「文化財整備と同等の仕様で石積整備を行う」ことを追加いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 石積外観は文化財整備と同等の歴史景観に配慮したものとする計画である。石積内部の工法や構造形式については安全確保など法令適合にも関係するため、整備方法の詳細は引き続き検討する。
3		<ul style="list-style-type: none"> 他の文化財、石積などの整備現場では、石材の調達に厳しいと聞いている。石材の調達計画についても早めに検討いただきたい。 	
4	立岩の計画について	<ul style="list-style-type: none"> 立岩の立入禁止柵の素材はプラ疑木支柱とあるが、天然木の柵でお願いしたい。プラ擬木だと周辺景観との不調和や、柵自体が歪んで見えることなどが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 天然木の柵で囲むことで、景観への配慮、利用者の安全性確保と文化財保護を図る。
5		<ul style="list-style-type: none"> 立岩には崩落の危険もあるため、柵には公園利用者の安全性の確保という機能もある。立ち入ってはいけないことが明確に伝わるよう配慮して検討すべきである。 	
6	北側階段の計画について	<ul style="list-style-type: none"> 北側階段の門扉はアルミ製となっているが、周辺の石積に配慮して、亜鉛メッキリン酸処理など、自然になじむ素材や仕上げを再検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 石積や周囲の景観、自然に馴染む仕上げとする。
7	眺望広場の計画について	<ul style="list-style-type: none"> 眺望広場の安全対策等を含めた整備計画について、今回の資料に記載がない。今後の検討としてもよいので、どこかに記載いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 眺望広場の活用方法とも関連するため、中城御殿跡地全体のバリアフリーの考え方を整理しながら、建物の実施設計段階でも、引き続き検討する。
8		<ul style="list-style-type: none"> 眺望広場へのアクセスについて、バリアフリー対策として何か工夫ができないか。無理に登らせるということではないが、検討いただきたい。 	

No.	項目	意見要旨	対応方針(案)
9	設備計画について	<ul style="list-style-type: none"> 街路灯・監視カメラの位置について、首里城への眺望を考慮したうえで、設置場所や設備形態を検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 監視カメラ等は、眺望広場からの眺望や景観を阻害しない位置とする。
正門側井戸について			
10	整備手法について	<ul style="list-style-type: none"> 井戸遺構の遺物を別の場所で保管するのではなく、歩道面に高さを合わせて現場に残す手法も提案していた。最大限に尽力して、文化財を活かした整備手法を検討すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係者(文化財課、南部土木事務所)と調整し、遺構の保護及び歩道の安全確保の観点から、現場での表面表示にはオリジナル遺構を使用しないこととしたい。
11		<ul style="list-style-type: none"> 遺構は残しつつ、表面を傷つけないようにプラスチックの溶剤を溶け込ませ、上に層をつくる手法を提案したい。最新技術のものは強度もあるため、遺構に傷がつかずに済む。もし不要となった際は層を剥がせばよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動が必要となるオリジナル遺構については、中城御殿敷地内で展示活用することで遺構を適切に保全、公開、活用する計画としたい。 →【資料4】参照
松崎馬場の整備方針(案)について			
12	植栽計画	<ul style="list-style-type: none"> 松崎馬場の植栽を整える過程では現況の景観にも影響が出るため、地域の方にもご理解いただけるよう、丁寧に説明をしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 松の植栽や既存樹木の伐採等に当たっては、首里杜まちづくり推進協議会等を通して地域への説明を行いながら進める
13	舗装計画	<ul style="list-style-type: none"> 宿道の幅員について、龍淵橋側は、本来もっと狭かったのではないと思う。当時の幅を変えてまで、管理車両を無理やり通す必要はないのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 園路の幅は、発掘調査で検出された遺構舗装面の幅(4m)をもとに設定している。龍淵橋接続部の幅員はわかっていないが、芸大石積の崩落の危険を避けるため 3mと設定している。
14		<ul style="list-style-type: none"> 芸大側に設ける側溝について、景観上、見える位置であれば生け垣を設置して見えないようにするなど、景観に配慮すべきではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 芸大側に築山を設け、松の植栽や境界生垣を配置することで利用者からは側溝が見えない計画となっている。なお、側溝も景観に配慮した仕様を予定している。

②進捗及び関連事項の報告

No.	項目	意見要旨	対応方針(案)
中城御殿 建物エリアの検討状況について			
15	防災・防火について	<ul style="list-style-type: none"> 中城御殿の建物の防災上の課題について、国の技術検討委員会の防災専門の委員から、首里城の火災を踏まえて検討してほしいとの意見があった。延焼を防止し、仮に火災が発生した場合でも、ほかの建物が残せるよう検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画段階では防災専門家の意見を踏まえ、防災防火対策の強化を検討した。今後の建物設計段階においても、防災専門家の意見を確認しながら設計を進める。

No.	項目	意見要旨	対応方針(案)
16	避難計画について	<ul style="list-style-type: none"> 建築計画の考え方について、「防災・防火対策の強化」の文言はあるが、避難関係の記述が見当たらないため、追加していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難計画、動線計画、バリアフリー等についても昨年度から検討しているため、文言の追加を検討する。
17	景観上の配慮等について	<ul style="list-style-type: none"> パース図の中央あたりでは、陸屋根が軒先に食い込んでいるように見える。令和3年度委員会での意見は、軒先も含めた高さが重要で、その高さを超えないようにとの主旨だったが、その認識で検討を進めているとの理解でよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> 軒の納まりなどについて、今回資料で提示している。ご意見いただきたい。→【資料2】参照
18		<ul style="list-style-type: none"> 室外機等について、景観上の配慮に加え、騒音対策も考慮いただきたい。上之御殿エリアに稼動音が入らないような機器の検討や、場合によっては配置換えなども含めて検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部空調機器類の設置位置等について、今回資料で提示している。ご意見いただきたい。→【資料2】参照
整備スケジュール等について			
19	尚家資料の取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> 那覇市の尚家関係の文化財の展示について、中城御殿への収蔵の可能性も検討しているのか。現段階では、展示のみの考えか。 	<ul style="list-style-type: none"> 尚家関係資料の展示に係る課題や方針を整理した上で検討する。→【資料3】参照
20		<ul style="list-style-type: none"> 尚家資料は戦災をくぐり抜けて生き延びてきたものである。現在は複合ビルの中で展示されているので、少しでもその環境が改善されればと思う。 	